

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 25 年 4 月 11 日 (2013.4.11)

【公表番号】特表 2012-519676 (P2012-519676A)

【公表日】平成 24 年 8 月 30 日 (2012.8.30)

【年通号数】公開・登録公報 2012-034

【出願番号】特願 2011-552505 (P2011-552505)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/45 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/16 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

C 1 2 N 9/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/52 Z N A

A 6 1 P 43/00 1 0 1

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 25/16

A 6 1 P 25/28

C 1 2 N 9/12

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 2 月 20 日 (2013.2.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

プロテインキナーゼ A 又はカゼインキナーゼ II を含む、ニューロンからの神経突起伸長の阻害の軽減剤であって、

前記ニューロンが N o g o 受容体を含み、

前記ニューロンの N o g o 受容体のリン酸化を引き起こすことのできる、前記軽減剤。

【請求項 2】

プロテインキナーゼ A 及びカゼインキナーゼ II を含む、請求項 1 に記載の軽減剤。

【請求項 3】

リン酸化が N o g o 受容体のセリン 2 8 1 に対応するアミノ酸残基のリン酸化である、請求項 1 又は 2 に記載の軽減剤。

【請求項 4】

N o g o 受容体がヒト N g R 1 である、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の軽減剤。

【請求項 5】

脊髄損傷のための医薬の製造のための、プロテインキナーゼ A ポリペプチドの使用。

【請求項 6】

プロテインキナーゼ A ポリペプチドを含む脊髄損傷の治療剤。

【請求項 7】

脊髄損傷のための医薬の製造のための、カゼインキナーゼ II ポリペプチドの使用。

【請求項 8】

カゼインキナーゼIIポリペプチドを含む脊髄損傷の治療剤。

【請求項 9】

医薬としての使用のための、プロテインキナーゼ A 及びカゼインキナーゼ II を含む組成物。

【請求項 10】

脊髄損傷のための医薬の製造のための、請求項 9 に記載の組成物の使用。

【請求項 11】

脊髄損傷の治療における使用のための請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 12】

神経突起伸長を引き起こすための医薬の製造のための、プロテインキナーゼ A ポリペプチド又はカゼインキナーゼ II ポリペプチドの使用。

【請求項 13】

プロテインキナーゼ A ポリペプチド又はカゼインキナーゼ II ポリペプチドを含む神経突起伸長剤。

【請求項 14】

対象に N o g o 受容体のリン酸化を引き起こすことのできる プロテインキナーゼ A 又はカゼインキナーゼ II を有効量含む、脊髄損傷の治療剤。

【請求項 15】

損傷部位へ局在投与される、請求項 14 に記載の治療剤。